

記録
16ミリ
カラー／29分

- 自主企画
- 協賛
中外製薬株式会社
- 監修
国立ガンセンター疫
学部長・日本対ガン
協会常務理事
平山 雄

- 協力
日本対ガン協会
神奈川県予防医学協
会
埼玉県対ガン協会
神奈川県厚木市
社団法人 銀鈴会

- スタッフ
- 製作
福岡順子
 - 脚本・演出
田中 徹
 - 撮影
仲沢廉治
 - 照明
本橋俊男
 - 解説
小林恭治

文部省選定

現代人にとって最大の脅威となったガン（癌）。しかしガンは宿命ではなく、いくつかの明らかな要因によって起きることが、疫学調査の積み重ねによって解明されてきている。それらの要因を知り、それらに近づかないよう日頃から心がけることがガンの予防ともなる。本作は予防の面からガンをとらえた映画である。『成人病の予防』『糖尿病の予防』に続く成人病シリーズの第3目目。



成人の3人から4人に1人はガンになるといわれている。ガンは最大の国民的不安のひとつといってもいいすぎではない。ガンはどうしたら防げるか？ 近年、喫煙、食物、環境要因など発ガン要因が明らかにされてきた。ガンを防ぐには、3つの砦が考えられる。まず、あげられているいくつかの原因を遠ざけること。それが第1の砦である。発ガン物質の作用を長期間、継続的に受けることがガンの原因になる。それがガン研究200年のたどりついた結論である。

喫煙のために肺ガンにかかり、声帯を失った若い患者の訴え、人工発声法を覚えようと血のにじむ努力を続ける銀鈴会（喉頭ガン患者リハビリテーションの会）の活動が紹介される。ついで食物にも意外なほど重要な関連性が見られる。

ガンを防ぐ第2の砦は早期発見。胃ガン、子宮ガン、乳ガン、肺ガンの集団検診が紹介される。そして自覚症状がでてきたら早期受診と治療を心がけるのが第3の砦である。